さくら教室

台東区立谷中小学校グループ
（谷中小・忍岡小・黒門小・根岸小）
さくら教室発行
令和6年9、10月号
谷中小学校ホームページ➡

「　可能性を信じて　」

谷中小学校　校長　堀井重義

今年の夏休みは世界的なイベントである「パリオリンピック」が開催されました。連日、日本選手の活躍が報道され、私もライブで応援したり、結果を検索したりとオリンピックに夢中になっていました。特に夢中になったのは、後半に行われたレスリング競技です。組み手の攻防、相手に技をしかける一瞬のタイミングをねらっている姿、技をかけられないように必死で抵抗する姿など、限られた時間の中で、一進一退の攻防が繰りひろげられ、目を離せませんでした。日本選手の活躍はうれしかったのですが、それ以上にこのスポーツのすごさやおもしろさに惹かれました。もちろん、他の競技にも魅了されました。日本選手を応援しながら、世界のトップ選手の技の極みや巧みさに感動を覚えました。私たちに夢と希望、そして感動を与えてくれた世界の選手に感謝です。

ある記事に、オリンピック選手がそのスポーツを始めたきっかけなどが載っていました。「親に勧められて（連れていかれて）」「兄弟姉妹、友達がやっていたから」「近所に練習場があったから」「かっこいいと思ったから」など、様々なきっかけが書かれていました。そして、どの選手にも共通していたのが、苦しいとき、やめたいときもあったが、ずっと続けてきたことでした。きっかけはいろいろですが、やり続けることの大切さを改めて感じました。

子供たちにも、まずやってみること、挑戦すること、そしてこれはと思ったことをやり続けること、努力することをしてほしいと願っています。子供たちには大きな可能性があります。もっている力や可能性を最大限に伸ばし、成長を支えるきめ細やかな教育活動をしていけるよう、今後も教職員一同力を合わせていきます。二学期もよろしくお願いします。

これからの予定

【指導期間】
2学期指導期間：令和6年9月9日（月）～令和6年12月20日（金）
※変更がある場合もあります。

【巡回指導曜日】

月	火	水	木	金
谷中小学校	黒門小学校	忍岡小学校	谷中小学校	根岸小学校
（根岸小学校）	根岸小学校	谷中小学校		

＊相談や質問がある場合は、まず担任の先生や特別支援教育コーディネーターにご連絡ください。

巡回指導教員：3名

※裏面も御覧下さい。

やり抜く力

物事を長く続けられるようになりたい、自分にできることにもっと自信をもちたい・・・。それ以外にも、現代の子供たちは様々な問題に直面し、不安を感じる子の割合も増加していると言われています。しかし、「やり抜く力－困難な状況でも粘り強く努力する能力―」を身に付ければ、日々の課題の解決の一助となるかもしれません。この「やり抜く力」について、今回は紹介していきます。

あなたの「やり抜く力」はどれくらい？

現在の「やり抜く力」レベルを調べましょう。（括弧内の数字はスコアです。）

	全くない（0）	少し当てはまる（1）	当てはまる（2）	非常に当てはまる（3）
挑戦することが大好き。				
自分で始めたことを最後までやり遂げることにやりがいを感じる。				
難しい課題を完成させることが楽しい。				
何かに失敗しても、諦めたくなったり、やめたくなったりしない。				
家や学校で「よく頑張っているね」と言われる。				
練習は重要。必ず役に立つと思う。				
合計				
総　計				

総計のスコアが16以上であれば、すでに高いレベルです。ですが、15以下の場合も大丈夫です。これから「やり抜く力」を身に付けていきましょう。

「やり抜く力」を身に付けるには・・・（一部）

「やり抜く力」を身に付けるには、以下のようなスキルを高めることが大切です。このようなスキルを高め、お子さんの成長を支えてあげてください。

○スタミナをつける　➡睡眠、食事、運動、遊びなど、心身のケアを行う。
○視点を保つ　➡状況を正確に把握し、良い選択肢や可能性に気付く。
○楽観的になる　➡物事が思い通りに進まないときでもポジティブな点を探すように脳を訓練する。
○問題を解決する　➡問題を特定し、解決策をだれかに相談して考え、試してみる。
○変化に対応する　➡はじめてのことや、まだ確実にはできないことにもチャレンジしてみる。
○柔軟に活動する　➡新しい経験や異なるアイディアを受け入れる。
○自分のために頑張る　➡自分が必要としていることや欲しい物を主張する。
○良好な人間関係を築く　➡自分を支えてくれる人、助けてくれる人とのつながりを作る。

2 学期が始まりました。1 学期を振り返り、新たな目標を立ててスタートする良い機会です。目標に向けて一歩一歩根気強く頑張る姿を応援しています。

参考：『子どもの「やり抜く力」を育むワークブック』岩崎学術出版社